

会社概要

(2023年9月30日現在)

社名 日東紡(登記名：日東紡績株式会社)
 本店所在地 福島県福島市郷野目字東1番地
 本部所在地 〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
 創業年月日 明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社(郡山)設立
 大正7年4月 福島精練製糸株式会社(福島)設立
 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
 資本金 196億円
 従業員 (連結)2,631名 (単体)787名 (2023年3月31日現在)
 ホームページ <https://www.nittobo.co.jp>

●主な営業所・工場・研究所等

大阪支店 富久山事業センター ファイバー研究開発センター
 名古屋支店 伊丹事業センター (福島工場内)
 福島工場 メディカル研究開発センター
 福島第2工場 (富久山事業センター内)

●連結子会社

日東グラスファイバー工業(株) パラマウント硝子工業(株)
 富士ファイバーグラス(株) ニッターポーメディカル(株)
 日東グラステックス(株) Nittobo America Inc.
 NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd. 日東紡アドバンテックス(株)
 Baotek Industrial Materials Ltd. (株)文京精練
 (株)双洋 (株)日東紡テクノ

その他7社

●取締役

(2023年6月28日現在)

取締役 辻 裕一 社外取締役 藤重 貞慶
 取締役 西坂 豊志 社外取締役 影近 博
 取締役 五十嵐和彦 社外取締役 内藤亜雅沙
 社外取締役 中島 康晴

●執行役

(2023年6月28日現在)

代表執行役社長 辻 裕一※ 執行役 須釜 裕司
 代表執行役専務 多田 弘行 執行役 梶田 明正
 常務執行役 五十嵐和彦※ 執行役 梶川 浩希
 常務執行役 榮 達雄 執行役 畑中 克哉
 常務執行役 林 寿信 執行役 伊藤 正毅
 上席執行役 松永 隆延 執行役 中村 幸一
 上席執行役 岡久 靖

※は取締役兼務

●技監

(2023年6月28日現在)

上席技監 竹内 実 上席技監 畑中 英之

株式情報

(2023年9月30日現在)

●株式の状況

発行済株式総数 37,723,012株 株主数 8,406名

●所有者別分布状況

金融機関	その他国内法人	外国法人等	個人・その他
43.85%	23.53%	18.72%	9.23%
証券会社 1.65%		自己株式 3.02%	

●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,427	12.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,514	9.61
住友不動産株式会社	2,383	6.51
日本生命保険相互会社	1,614	4.41
第一生命保険株式会社	1,316	3.60
住友生命保険相互会社	1,082	2.96
エア・ウォーター株式会社	997	2.73
株式会社東邦銀行	905	2.47
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	890	2.43
株式会社みずほ銀行	800	2.19

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
 なお、自己株式には株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式は含まれていません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月下旬	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nittobo.co.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
上場取引所	東京証券取引所プライム市場(証券コード3110)	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)	

※詳細は当社のホームページ(<https://www.nittobo.co.jp/>)をご参照ください。

日東紡績株式会社

東京本部
 〒102-8489
 東京都千代田区麹町二丁目4番地1

第163期
日東紡 株主通信

2023年4月1日~2023年9月30日

■株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第163期第2四半期(2023年4月1日から9月30日まで)の業績および取組みについてご報告申し上げます。

当第2四半期における世界経済は、欧米でのインフレ長期化や中国での不動産不況による景気減速などにより、景気回復のペースは鈍化しました。わが国経済は、社会経済活動の本格的な正常化が進んだことなどにより緩やかに回復した一方、物価の上昇による世界的な金融引き締めなど景気下押しリスクにより、先行き不透明な状況は継続しました。

このような環境の下、当社グループは2023年度を最終年度とする中期経営計画に基づき、持続可能な社会実現に向け、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。

株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

■第163期第2四半期(2023年4月1日から9月30日までの業績)

当第2四半期は、グラスファイバー事業において高付加価値品であるスペシャルガラスの販売は回復基調が継続したものの、そのほかの汎用品の低迷などもあり、前年同様の販売実績を下回りました。

この結果、連結売上高は前年同期比9.1%減収の427億円、営業利益は前年同期比32.2%減益の31億円、経常利益は前年同期比32.5%減益の42億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比53.0%減益の35億円になりました。



取締役 代表執行役社長

辻 裕一

駅看板広告をリニューアル

日東紡でよかった

その声が、挑戦の原動力になる

福島から世界へ
Nittobo

4月1日より、新たなキャッチコピーとともにJR福島駅とJR郡山駅の駅看板広告を一新しました。

フラッグ広告の制作



4月1日～4月30日の間、JR福島駅とJR郡山駅の駅構内にフラッグ広告を掲載しました。

奨学金基金の設立

未来の製造業を担う福島県内の若い世代をサポートする奨学金基金の設立を準備しています。福島県の職業訓練校の就学生に対する奨学制度として、製造業で働くことを目指す若い世代の支援と福島県の製造業の発展に貢献していきます。

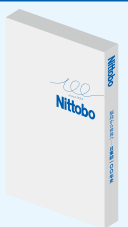
学研 まんがでよくわかるシリーズ「グラスファイバーのひみつ」を制作



<https://bpub.jp/gakken-himitsu/item/510000005049>

グラスファイバー誕生の歴史や、製品の特長、身近なものへの使用例などを紹介しています。全国の小学校、公立図書館などに寄贈しました。

福島から世界へー日東紡100年史を制作



当社ウェブサイトにてデジタルブックを掲載しています。

https://www.nittobo.co.jp/100th_anv/book/

100周年記念植樹



富久山事業センターに、日本三大桜の一つである「三春滝桜」(国指定天然記念物のシダレザクラ)の子桜の植樹を行いました。

福島ユナイテッドFCの「日東紡創立100周年記念スペシャルマッチ」を開催



©Fukushima United FC



10月、当社がオフィシャルクラブパートナーを務める福島ユナイテッドFC(サッカー)リーグ所属)のスペシャルマッチを行いました。特別企画「親子サッカー教室」も開催し、地域の多くの方々にご参加いただきました。

「日東紡グループ 統合報告書2023」を発行しました

当社ウェブサイトよりダウンロードいただけます。



https://www.nittobo.co.jp/ir/library/integrated_report.htm



株主総会資料(招集ご通知)の電子提供制度に関するお知らせ

会社法の改正にともない、2024年6月に開催される当社第163回定時株主総会では、株主総会資料(招集ご通知)が掲載されたウェブサイトへのアクセス方法等を記載した書面を株主様宛にお送りする予定です。株主総会資料のご確認には、指定のウェブサイトを開覧いただきますようお願いいたします。

インターネットのご利用が困難な株主様へ

書面交付請求制度の利用により株主総会資料(招集ご通知)を書面で受領することが可能です。

- 書面による株主総会資料(招集ご通知)の受領を希望される株主様は、書面交付請求制度をご利用ください。お手続きは、株主総会基準日(2024年3月31日)までに完了させてください。
- 当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行またはお取引のある証券会社へお申し出ください。

お早めのお手続きをお願いします。

本件に関するお問い合わせ先
(専用コールセンター)

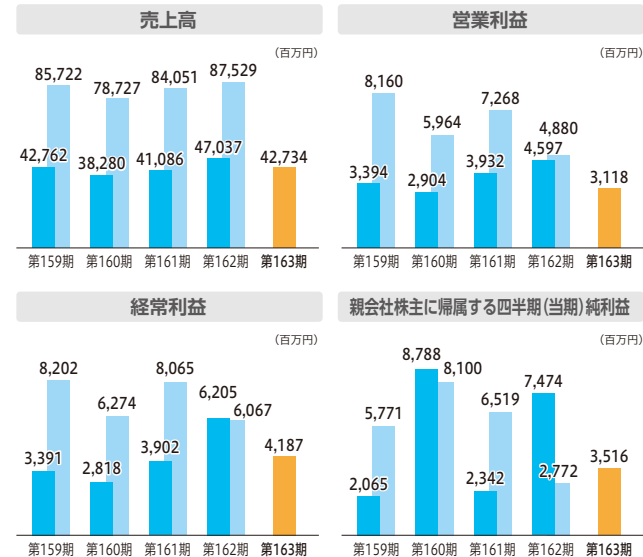
みずほ信託銀行 証券代行部

0120-524-324

ご利用時間

音声ガイダンス：24時間、365日
オペレーター：9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 第2四半期累計期間 ■ 通期



事業概況

原織材事業

原織材事業では、強化プラスチック用途の複合材や電子材料向けヤーンの販売は前年同期を下回り、減収、営業損失となりました。

機能材事業

機能材事業では、低誘電特性を持つスペシャルガラスの販売が伸長しましたが、減収減益となりました。

ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、メディカル事業の販売は順調に推移した一方、飲料事業が連結対象から外れたことにより、減収減益となりました。

設備材事業

設備材事業では、引き続き、断熱材および設備・建設資材向けガラスクロスの堅調な販売が収益に貢献したことにより、増収増益となりました。

繊維事業

繊維事業では、芯地の販売は好調だったものの、コストアップの影響を受けたことにより、増収減益となりました。

